

クボタの事業活動と環境とのかかわり

産業インフラ部門、機械部門、環境エンジニアリング部門などの生産工程において環境に与える負荷の発生状況は、次のとおりです。生産工程で使用する原材料および電力・用水・燃料などの投入量(INPUT)、および二酸化炭素(CO₂)や廃棄物など環境への排出量(OUTPUT)を把握し、クボタグループを挙げて環境負荷の削減に取り組んでいます。

環境影響の評価

企業活動に伴う環境影響を評価するため、JEPIX[※]による環境効率評価手法の検討を進めています。JEPIXとは、企業活動に伴う環境影響を単一の数値に置き直し、評価するための指標です。

「文部科学省21世紀COEプロジェクト(国際基督教大学ICU)受託」の一環として開催されたJEPIXフォーラムに、当社は2004年度より参加しています。

※JEPIX(Environmental Policy Priorities Index for Japan)
環境政策優先度指数日本版
環境効率=売上高(円)÷エコポイント

環境効率の推移(クボタ単体)

エコポイント(百万ポイント)と環境効率(円/エコポイント)の推移を示すグラフです。

年度	エコポイント(百万ポイント)	環境効率(円/エコポイント)
2001	8,029	0.08
2002	5,914	0.11
2003	5,076	0.13
2004	3,575	0.19

エコポイントとは環境負荷を数値で表したもので、数値が小さいほど環境への影響が少ないことを表しています。2001年度から2004年の間でエコポイントが減り、2004年度では2003年度より環境効率が46%向上していることが確認できました。

